学校番号	３１８

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	国語読解演習 B	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	大学入試トライアル　私大対策　論理 20　（いいずな書店）						
副教材等	読解現代文必携　キーワードの卵　（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ

・社会生活を送る上で必要である基本的な国語の知識や技能を育成します。
・様々な文章を「読む」また内容をまとめて「書く」ことで言語感覚を磨くとともに、論理的に考える力や深く共感する力を身につけます。
・言葉が持つ価値について考え、言葉を通して積極的に他者や社会にかかわろうとする態度を養っていきます。

2　学習の到達目標

・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、多くの文章を読むことで、自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
・現代文評論を中心に読解演習形式を主としながら、高度に抽象的な文章を精密に読み解くことができるようにする。さらに文章のテーマに関わる様々な知識を学習し、自分の考えを構築、表現できるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	入試問題を解くために必要な国語の知識や技能を身に付けている。	入試問題を自分自身で読解し、その根拠を示すことができる。 論理的に考える力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	問題意識を持ち、自分で題材を探しながらそれを読解するとともにその根拠を示すことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	「問題」「解決」「根拠」を意識し、演習問題を解くために必要な知識を確認する。 [教材]「ナラティブと共同性」(野口裕二)、「近代科学再考」(広重徹)など	a:テキスト予習 b[　読　]:初見文章による課題。主張や論拠について段落や構成に留意して読み取る。 c:解答の根拠を説明する課題で自身の意見をまとめる。	小テスト 定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 定期考査初見問題による演習問題	授業態度 課題提出 ノート提出 振り返りシート
2学期	「根拠」の構造を意識しながら、演習問題を解くために必要な知識を確認する。 [教材]「歴史の想像力」(山内昌之)、「忘却の生理学」(外山滋比古)など	a:テキスト予習 b[　読　]:初見文章による課題。二項対立や一般化に留意しながら読解をする。 c:解答の根拠を説明する課題で自身の意見をまとめる。	小テスト 定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 定期考査 初見問題による演習問題	授業態度 課題提出 ノート提出 振り返りシート
3学期	「テーマ」を理解するとともに、自分自身の意見について自覚的に読解、確認する。 [教材]「ひとはなぜ『認められたい』のか」(山竹伸二)、「政治にとって文化とは何か」(越智敏夫)など	a:テキスト予習 b[　話/聞　]:語彙を増やすとともに表現の工夫に留意しながら読解をし、解答の根拠や自分の主張について発表する。 c:解答の根拠を説明する課題で自身の意見をまとめる。	小テスト 定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 定期考査 初見問題による演習問題	授業態度 課題提出 ノート提出 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　５　）時間

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間